



SDGs 達成に向けた取組み

SDGs 視点による地域活性化への取組み



目的・背景

当社は経営理念である『便利で豊かな生活の創造』のもと、環境に配慮したモノづくりやお客様の声を反映した商品の開発を進めてきました。

その一環として、令和4年4月にSDGs推進室を発足し、各部署から選ばれたメンバーが会社の掲げる3つの目標と10のテーマに沿った活動を行ってきました。

今回、この3つの目標の1つである『社会を豊かにする』ための取組みとして、一般社団法人西条市SDGs推進協議会様と連携し、当社オリジナル物置を1団体に1台、寄附を実施させていただくこととなりました。



寄附物置

具体的な取組内容

令和6年7月より、当社HP及び西条市SDGs推進協議会様のサイト上にて、以下の内容で物置1棟寄附の募集を行いました。

1. 愛媛県西条市内で活動する団体であること。
2. 寄附物の設置場所が愛媛県西条市内であること。
3. 幼児～中学生と共に活動を行う団体であること（例：子ども会、スポーツ団体、ボランティア等含む）。
4. 寄附したスチール製物置を継続して管理及び運用することができる団体であること。
5. 寄附したスチール製物置を設置する予定場所が明らかであること。
6. 寄附したスチール製物置を設置する場所（土地）の所有者等との使用許可が取れている、または取れる見込みであること。

この取組みを知った西条市の未来共創課の方も周知に協力して下さり、9月までの募集期間中に4団体からの応募がありました。

抽選の結果、壬生川小学校を拠点に活動されている「ジュニアハンドボール西条スクール」様へ寄附することが決まりました。

12月7日、壬生川小学校の体育館横にて、寄附した物置の設置及び贈呈式を行いました。当日はジュニアハンドボール西条スクールメンバーの中から上級生のメンバーが14名ほど集まってくれ、和気あいあいとした雰囲気のもと、1時間半程度で物置が完成しました。



物置組立中

その後、ジュニアハンドボール西条スクール代表、西条市長、壬生川小学校校長、西条市SDGs推進協議会専務理事、当社取締役他関係者一同が参加し、贈呈式を行いました。その様子をハートネット様と愛媛新聞様が取材され、後日ケーブルテレビでの放送及び新聞紙面で紹介されました。



集合写真

成 果

①地域への貢献 ②当社技術の宣伝

この取組みにより、活動の都度車で運んでいた道具を収納する場所ができてとても楽になったと、ジュニアハンドボール西条スクールメンバーの方たちには大変喜んでいただくことができました。

また、今回寄附した物置は、この取組みのために特別に扉をデザインした物置であるということも伝えたと、とても感激していただけたことにも、当社の技術にも関心をもっていただくことができました。

今回の取組みは、当社の宣伝もできつつ、地域貢献の一助にもなったと考えております。

今後も年に1回この取組みを続けていき、SDGsの目標のうち、11「住み続けられるまちづくりを」、17「パートナーシップで目標を達成しよう」などに効果を発揮していきたいと考えております。

担当者の思い

今回寄附した物置は、石鎚山や「水の都」西条市の景色をモチーフに特別にデザインしました。組み立てはスクールの子もたちと共に、地域の皆さまとSDGsの取組みを共有する意義深い体験となりました。

贈呈式では、西条市長をはじめ地元関係者の方々に参加いただき、愛媛新聞社や地元ケーブルテレビの取材も入り、当社の地域貢献活動を広く知ってもらった貴重な機会となりました。これからもこの活動を続けていきたいと考えております。

〈営業本部 主任 四方 真由美〉